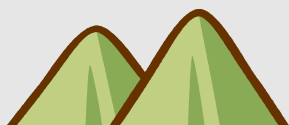


愛宕山



6月にスタートした1学期の学校支援訪問（市町村支援チーム訪問及び要請訪問を除く）ですが、7月の第2週までに計29校に訪問させていただきました。ありがとうございました。

訪問させていただいた職員が口々に言うのは、「4つのチェックポイントを意識した授業が増えた。」ということです。これは、紛れもなく、北部管内の学校の先生方が授業力向上の必要性を感じ、それを実践につなげているということです。目の前にいる子供たちが、自分の夢を現実にするためには、全国を含め同年代の人たちと渡り合っていかなければなりません。そんな学力を含めた「生き抜く力」を子供につけようと、先生方が頑張っておられるので、我々も精一杯頑張っていきたいと考えております。

2学期は26校に訪問する予定です。2学期もよろしく願いいたします。

アンケートありがとうございました

6月に「学校の組織的対応」、「個々の教師の授業」に対するチェックポイントについてのアンケートをさせていただきました。100校の管理職（管理職については、各校1つの回答）及び1173名の先生方から御回答をいただきました。御協力ありがとうございました。

アンケートの結果の概要については別紙のとおりでしたので、ご参照ください。

特に「個々の教師の授業」に対する4つのチェックポイントについての取組状況は、4つともほぼ同じ傾向が見られ、次のとおりでした。

「している」…10%前後 「まあしている」…60%前後 「あまりしていない」…30%前後 「していない」…1~2%

前段で述べましたように、肯定的な回答が7割を占めていることが授業改善につながっていることがこのアンケートからも分かります。ただ、「あまりしていない」という回答が3割ほどありますので、そういった方も授業改善に向けて取り組めるように、我々も分かりやすくお伝えしていかなければならないと考えています。

新学習指導要領について(その1)

小学校は平成32年度、中学校は平成33年度（実際には別の元号になります）より完全実施となる新学習指導要領ですが、改訂のポイントの1つに『「何ができるようになるか」を明確化した』ことが挙げられます。各教科等、次の3つの柱で、新しい時代に必要となる資質・能力が再整理されています。

- ① 生きて働く**知識・技能**の習得
- ② 未知の状況にも対応できる**思考力・判断力・表現力**等の育成
- ③ 学びを人生や社会に生かそうとする**学びに向かう力・人間性**等の涵養

次号では、「どのように学ぶか」についてお知らせしたいと思います。

授業改善のポイント【ある学校の取組】

授業とは少し違う視点ですが、テストの受け方という視点でのある学校での取組を紹介します。

小学校は市販の単元テストを実施しますが、この単元テストにもご存じのように時間設定がされています。テストを実施する前に、実施時間を子供に伝え、時間内に取り組むようにしている学校があります。時間を意識してどうテストに取り組ませるかを実践することはとても大切だと思います。

また、ある中学校では高校入試と同じような形式で、定期テストを作成し、実施しています。これまでの方法を少し見直すことが成果につながっていると思われ

問い合わせ先：黒木伸郎

そういえば、以前、学力テストの後に、「子供たちがテストに慣れていない」という反省もあつたむう。大事な取組のひとつだワン！



むうちゃん

